

# 学校訪問⑤

地域の皆さんへの  
感謝を込めて

## 高倉小学校

高倉小学校（高倉町飯部・中山敏美校長）は、6年生3人、4年生2人と少人数ですが、みんなで協力し合う、元気な子どもたちです。しかし、児童数の減少から今年度末で閉校し、川面小学校へ統合となります。

10月30日、日ごろお世話になっている地域の皆さんを招いての、同校「最後」の感謝会が行われました。



校歌も披露。皆さんが懐かしそうに聴き入っていました



カワラバッタについての研究発表

最初に11月19日(木)の高梁市さわやか音楽発表会に向けて練習中の「風の谷のナウシカメドレー」と「学校坂道」の2曲を披露。「少し緊張もしたけど、練習しているように演奏できました」と4年生の藤井皓大くん。

10月6日の市東部児童生徒研究発表会で特賞を受賞した「カワラバッタの生態と環境」も発表しました。同校で平成11年から続く昆虫教室の内容をまとめたもので、絶滅危惧種のカワラバッタなど学校周辺に生息する昆虫の観察を通して、子どもたちは、豊かな自然ときれいな環境に恵まれた高倉の素晴らしさを再認識したようです。6年生の三村菜摘さんは「特賞は驚きました。先輩から受け継いできた研究で受賞できてうれしかった」と話してくれました。

最後は会食と朗読会。4年生は

「二つの花」、6年生は「やまなし」を朗読しました。4年生の森平日香留さんは「登場人物の気持ちが伝わるよう、一生懸命朗読しました」とにっこり。また、「私たちが育てたサツマイモを、おいしい」と食べてくださった、とてもうれしかったです」と6年生の森平莉子さん。地域の皆さんに喜んでもらうという、子どもたちの思いがたくさん詰まった感謝会となりました。

子どもたちは今、開校以来のたぐさんの写真をもとに、思い出のCDづくりにも取り組んでいます。「地域の皆さんにも、高倉小学校の思い出がいっぱい残るようなものにしたいです」と6年生の才田瑞穂さん。完成したCDは、感謝の気持ちを込めて、高倉町内の各家庭へも配布する予定です。



会食と朗読会

## グリーンツーリズムモニターツアー

秋の有漢収穫祭 10/24~25



基幹産業の農業を基本に都市住民との交流・定住促進を図っていくと、NPO法人夢風車うかんなどの連携組織「うかん活性化協議会」が主催し、グリーンツーリズムのモニターツアーが開催されました。

有漢町を舞台にした1泊2日のツアーには、関西方面などから男女9人が参加し、サツマイモ掘りなどの農業体験とともに、こんにやく作りや民泊などで交流を深めました。

定期的な開催を目指している同協議会では、今回の受け入れ態勢や時間配分、金額設定などについて参加者との意見交換やアンケートを実施。その結果を踏まえ、来年2月にもモニターツアーを開催する予定です。



## 力強く響く歌声

## 高梁男声合唱団ぐらんぱ

今年4月に結成したばかりの「高梁男声合唱団ぐらんぱ」。市内では、現在、唯一の男声合唱団です。

グループ名の「ぐらんぱ」は「おじいちゃん(Grandpa)」の意味。30代から70代まで幅広い年代が所属していますが、そのうち60代以上が7割と主力だったことにちなみました。

結成当初12人だったメンバーも16人に増え、11月29日(日)に総合文化会館で開催されるコーラスフェスティバル(午後1時開演・入場無料)に向けて練習を重ねています。

練習は毎週木曜日、午後7時30分から午後9時までの1時間半。主に文化交流館ハイビジョンルームで行われ、鶴田照子さん(新町)、中山法子さん(鉄砲町)、三村真利子さん(松原通)が指導に当たっています。

「メンバーには合唱経験のある人も



練習の様子

いれば、初めてという人も。でも、みんなに共通するのは「歌が好き」ということ。楽しく練習していますよ」と話すのは、テノールの時光重孝さん(66) (中井町津々)。また、バリトンの片山裕文さん(60) (井原市)は「誘われて合唱に興味もあり参加しました。始めてまだ1カ月くらいですが、腹式発声など基本からしっかりと学べ、以前よりも声が出るようになってきました」。

コーラスフェスティバルでは、「いざたて戦人よ」「はるかな友に」「雪の降るまちを」の3曲を3部合唱で披露します。「各パートの音がピタッと合った瞬間は気持ちいいですね。本番は力強い歌声とハーモニーで、男声合唱の魅力をお伝えできれば」と、バスの西村毅さん(67) (中井町西方)。

メンバーは、来秋開催の第25回国民文化祭・おかやま2010で、市内で開催される童謡フェスティバル(平成22年11月7日(日)開催)への参加も予定しています。

代表の森野哲行さん(70) (津川町今津)は「結成から日は浅いものの、みんな意欲的。催しにもいろいろ参加していきたいと思っています。皆さんも私たちと合唱を楽しみませんか」と話されます。

「ぐらんぱ」に興味をお持ちの人は、市童謡のまちづくり推進委員会事務局(社会教育課内☎0287)へお問い合わせください。